

部署名	法人本部	事務局長	清水 広好
-----	------	------	-------

上田しいのみ会

1 昨年度の重点事業計画と達成度

事業計画	①	つむぎの家の移転	達成度	<p>☆つむぎの家を移転して旧陽だまりの家で事業継続ができるようになりました。その場合に発生する、改修工事費用、指定管理制度継続、土地・建物の賃貸借、新たな施設長人事等の諸問題、すべてクリアーすることが出来ました。令和6年度5月から正式に事業移転が出来るように引き続き支援をしていきます。</p>
	②	理念主導の法人経営	達成度	<p>☆法人理念に基づく職員倫理綱領は、各施設の朝会にて職員で唱和をしています。常に法人理念と職員倫理綱領に立ち返り、職員同士で理念と意識の共有を図ることで、けじめとメリハリのある明るい職場になっていると思います。又理念浸透を目的とした法人職員研修を2回実施しました。</p>
	③	介護人材離れに負けない求人・職員定着体制の構築	達成度	<p>☆令和5年度新卒者採用職員は、短大卒1名、高卒1名、の計2名(男性1名・女性1名)で、中途採用者は10名と、外国人技能実習生(3期生)2名を受入れました。次年度(令和6年度4月から入職)の内定者は、大学卒2名(女性2名)、そして外国人技能実習生(4期生)3名の受け入れを予定しています。</p>
	④	多発する災害に備えて、BCP(事業継続計画)を強化	達成度	<p>☆義務化された各施設単位仕様のBCP(事業継続計画)の作成はできましたが、法人仕様のもは未作成のままです。尚、コロナ感染症が5類に移行されたが、ちょっとした油断により室質の里で施設内感染が起きました。しかし、以前の感染経験を活かし、関係職員各位で冷静に対応策を講じることが出来ました。これは実践的なBCPによる感染対策が出来た例と言えるものでした。</p>

2 昨年度実施した施設整備工事・整備設備等

つむぎの家(旧陽だまりの家)移転改修工事費 400 万円(935万円のうち令和5年度支払い分)

昨年度の修繕費合計 475 万円 固定資産取得費合計 146 万円

◎旧陽だまりの家改修工事等

◎実習3期生用電動自転車2台の整備、職員寮エアコン設備の入れ替え等

3 主な活動・実績等

①	<p>人材の育成</p> <p>◎一般職員向けに法人主催の職員研修を2回実施しましたが、各施設長による受講者の選抜で、ある程度の効果が期待できたと思います。尚、その研修参加者1名は4月の異動にて新たに自分のキャリアを積み積極姿勢が見られました。異動により各施設間の業務内容を俯瞰する機会を持つことが成長に大きくつながると感じ、今後も職員の意識向上を図れるようにしていきたいと思ひます。又嘱託職員で昇格希望者が1名あり、昇格試験を実施し令和6年4月から正規職員に登用します。</p>
②	<p>介護技能実習生の受入状況</p> <p>◎介護人材不足に対応し、高齢者部門に第3期外国人技能実習生を2名受け入れました。日本語検定N3の試験の準備、技能実習検定試験(初級)の準備等、順調な受け入れが来ています。尚、第1期生の4名は技能実習期間3年間を終了し、11月から特定技能の制度に切り替わっています。尚特定技能のうち2名は日本語検定N2の試験に合格しています。</p>
③	<p>社会貢献事業</p> <p>◎旧八十二銀行川西支店の跡地に、地域の総合的な社会福祉相談所として介護・福祉相談センター『かわにし』を立ち上げて以来、地域の福祉に関する様々な相談を気軽に受けることが出来るようになってきました。オレンジカフェ、出前講座、地域リハビリテーション活動の地域支援活動等、高齢者に関する活動を主とはしていますが、障がい者をはじめ高齢者以外の福祉に関するお困りごとの相談も受けることが出来るようにしています。そのため、地域における上田しいのみ会の認知度が上がってきました。</p>

4 その他 報告事項

①	<p>つむぎの家移転に関して、上田市福祉部長・障がい者支援課長・同係長と協議を進める中で、9/7土屋上田市長の旧陽だまりの家へ視察訪問、1/10上田市議教育厚生委員6名・事務局1名の皆様の同視察訪問の受け入れをしました。上田市関係者皆様のつむぎの家に対する関心度の高さを伺い知ることができました。</p>
②	<p>10/6株式会社伊藤商会様から「創業120周年記念」として当法人に120万円の御寄付を頂きました。3/27長野鋼材株式会社様から30万円の御寄付を頂きました。10/27株式会社石原産業様から10万円、同石原社長様から5万円の御寄付を頂きました。12/20依田正子様から5万円の御寄付を頂きました。</p>
③	<p>職員処遇改善交付金の支給に関して、支給方法の検討をしました。又コロナウイルス感染対応施設において、補助金を利用した特別危険手当の支給準備をしました。</p>

施設名	上田しいのみ園	施設長	佐藤 淳一
-----	---------	-----	-------

上田しいのみ会

1 重点事業計画と達成度

事業計画	① 開園45周年記念行事の開催	達成度	① 開園45周年を迎え、11月に記念行事を開催しました。コロナ禍の中ではありましたが、そば打ちや大道芸のパフォーマンス、そして豪華なお弁当も提供し、ご利用者にも楽しんでいただくことができました。45周年記念の広報誌も作成し配布しました。
	② 経年劣化による修繕、改修工事の計画		② ボイラーの入れ替え、防火戸の改修等行いましたが、計画をしていた浴室等の改修はいろいろな課題も見え、中長期的に施設全体のことを考えながら行っていく必要性を感じ実施することができませんでした。
	③ 日中活動の充実		③ 生産活動は室賀の里の清拭たみは年間通じて安定した受注がありました。その他は年末の八十二銀行のカレンダー巻き以外受注がありませんでした。作業以外ではカラオケクラブを毎週水曜日に開催、その他季節に合わせたレクリエーションや行事など工夫をしながら活動を行うことができました。

2 ご利用者状況 (R5年度末 令和6年3月31日現在)

(1) 生活介護及び施設入所支援利用者

① 施設入所支援定員	定員	40名	現員	38名	年間入院・外泊日数	331 日
② 施設入所支援性別	男性	24名	女性	14名		
③ 平均年齢	男性	63.8歳	女性	65.1歳	全体	64.3歳
④ 年度内入退所	退所	2名	入所	1名		

(2) 生活介護利用者

① 生活介護登録人員	男性	6名	女性	8名	全体	14名
② 平均年齢	男性	43.7歳	女性	46.2歳	全体	45.2歳
③ 新規登録者	男性	0名	女性	2名	解除	0名

(3) 障害支援区分

区分	6	5	4	3	2	平均
入所支援	12	19	3	4	0	5.0
生活介護	7	2	5	0	0	5.1

(4) 短期入所利用者

定員	2 名
短期入所の年間利用率	90%

3 実施した施設整備工事・整備設備等 (1件 100万円以上のもの)

- ① 給湯・暖房用等ボイラー更新工事

4 修繕費合計 1,199 万円

ボイラー更新工事・給湯管漏洩修理
防火戸設備改修工事

固定資産取得費合計 145 万円

厨房冷蔵庫(エネルギーコスト削減促進事業補助金あり)
全自動麻雀卓

5 主な活動・実績等

①	令和5年度はご利用者の状態も比較的安定しており、自立支援費収入は前年比で1,700万円増になりました。光熱水費は昨年度程ではありませんでしたが、食材費等が高騰しており、節約や工夫が必要な状況は変わりありませんでした。その努力のいかいもあり、収支は大幅なプラスとなっています。施設内の設備、備品等の劣化については、必要に応じ修理を行いながら、引き続き今後の施設整備、修繕等に課題が残される状況になっています。
②	コロナ感染予防についてはクラスターを起こさないように、緊張感も持ちながらも、制限はしすぎずご利用者の希望にできるだけ応えられるように帰省や面会の実施、外出行事、買い物等の支援を行いました。また、施設内での行事や活動を工夫し、その都度ご利用者の希望を聞きながら生活が充実したものになるよう支援をしていきました。

6 その他 報告事項

特にありません。

施設名	相談支援事業所 椎の実	施設長	細川 裕夫
-----	-------------	-----	-------

上田しいのみ会

1 令和5年度の重点事業計画と達成度

事業計画	① 法人内障がい者支援施設利用者の相談支援を拡充します。	達成度	① 上田しいのみ園、しいのみ療護園、つむぎの家ご利用の方々の計画相談は予定通りに行うことができました。
	② 在宅利用児・者の計画相談にあたりサービス事業所との連携を図ります。		② 在宅サービス利用児・者については事業所と連携を取りながらの計画相談を行いました。新規サービス利用の希望もあり調整しました。
	③ 重症利用児・者のショート及び緊急一時支援ニーズへの対応のため法人の障がい者支援施設との連携を強化し受け入れに協力します。		③ 利用人数は少なめですが、計画通りに取り組むことができました。
	④		④

2 令和5年度のご利用者状況 (令和6年3月31日現在)

(1) 指定特定相談支援事業利用者

①	利用登録者	64名	(うち施設利用者	46名)
②	男性	41名	女性	23名
③	平均年齢	男性 59.9歳	女性 60.3歳	全体 60.0歳
④	年度内利用解除者	3名	年度内新規利用者	1名

(2) 障害児支援事業利用児

①	利用登録児	1名				
②	男性	0名	女性	1名		
③	平均年齢	男性 歳	女性 12.0歳	全体 12.0歳		
④	年度内利用契約解除児	0名	年度内新規利用児	0名	継続基本相談支援利用児	1名

(3) 一般相談支援事業利用者

①	利用登録者	0名	地域移行・地域定着	0名		
②	男性	0名	女性	0名		
③	平均年齢	男性 歳	女性 歳	全体 歳		
④	年度内利用契約解除者	0名	年度内新規利用者	0名	継続基本相談支援利用者	0名

(4) 障害支援区分

① 指定特定相談支援利用者

障害支援区分	非該当: 1名	区分1: 1名	区分3: 5名	区分4: 9名	区分5: 25名	区分6: 23名
--------	---------	---------	---------	---------	----------	----------

② 障害種別

身体障害: 61名	知的障害: 8名	精神障害: 4名	重症児: 1名	利用者者総数: 65名
-----------	----------	----------	---------	-------------

3 主な活動・実績等

今年度末の登録利用児・者は上記のとおり総数65名でした。内訳は施設入所者46名及び在宅生活者19名（内児童1名）となっています。ご利用者の高齢化や心身状態の機能低下が見られ、障害支援区分上でも多くのサービスを必要とされる重度者の方の割合が増えています。利用解除となられた方の内訳は、1名の方が亡くなられ、1名の方が長期入院のため、1名の方が一般就労への移行のため登録解除になっています。

施設名	上田市つむぎの家	施設長	細川 裕夫
-----	----------	-----	-------

上田しいのみ会

1 重点事業計画と達成度

①	聞き取りや満足度調査をもとに、ご利用者・ご家族のニーズにさらに対応できる支援体制を図ります。	達成度	①	個別の聞き取りや満足度調査、また4年ぶりに開催した家族保護者会等により、ご利用者や家族の要望を確認して良質なサービス提供に努めました。
②	上田しいのみ園との日常的な職員及び利用者の交流を強化し一体的な運営を図ります。		②	コロナ感染対策を行い、状況を見ながらの日々の交流を行うとともに、短時間ですが、しいのみ園の行事にも交代で参加しました。
③	コロナウイルス感染予防対応をしながらも、楽しみの機会(創作活動・音楽療法など)提供していきます。		③	指先や手を使つての創作活動を行い、母の日、父の日のプレゼントとしたほか、バスボム作りにも挑戦しました。お楽しみ行事については、なるべく多くの方に参加していただくため、曜日ごとに分散して開催しました。
④	建替等の課題や事業内容・定員等の見直しについて、上田市、法人及び利用児者、保護者、家族会、関係機関と具体的な計画協議を継続していきます。		④	つむぎの家事業の今後については、上田市との協議の結果、現状の指定管理の枠組みを変えずに、旧陽だまりの家の施設を活用し、最小限の改築を行ったうえで、令和6年度に施設を移転することとなりました。

2 ご利用者・児状況

(令和6年3月31日現在)

(1) 生活介護事業利用者

①利用定員【5人】	利用登録者【11人】	{男性:8人、女性:3人}	平均利用率(4.7人/日)
②平均年齢【26.8歳】	{男性:28.8歳、女性:24.3歳}		平均在園期間(16年)
③入・退園状況	入園(1人)	移行[放デイより](1人)	退園(1人) 重症心身障害児施設入所

(2) 放課後デイサービス事業利用学童

①利用定員【5人】	利用登録者【3人】	{男性:1人、女性:2人}	平均利用率(0.4人/日)
②平均年齢【12.3歳】	{男性:13歳、女性:12歳}		平均在園期間(5年4カ月)
③入・退園状況	入園(0人)	退園(1人)	生活介護へ移行

(3) 児童発達支援事業

①利用定員【5人】	利用登録者【0人】	{男性: 人、女性: 人}	平均利用率(人/日)
②平均年齢【 歳】	{男性: 歳 女性: 歳}		平均在園期間(月)
③入・退園状況	入園(人)	退園(人)	

3 主な活動・実績等

1. 設備・修繕等実施事業

①特に大きな修繕等はありませんでした。

2. 運営・活動状況

- ①本年度の生活介護事業は養護学校を卒業された方1名が放課後等デイサービスより移行され、当初の登録は12名でした。その後、ご家族の都合で在宅介護が困難になり施設入所された方が1名おり、年度末の登録者数は11名でした。各曜日登録がほぼ埋まっており(定員オーバーの曜日が3日あり)、養護学校卒業後の居場所が課題となっています。
- ②放課後等デイサービスは利用児3名の登録があり、土曜日と長期休みを主に利用していただいています。
- ③コロナ感染症の5類移行を受け、屋外での外出行事を徐々に再開しています。隣のしいのみ園の行事についても、時間を区切って交代で顔を出しました。お楽しみ行事については、多くの利用者に楽しんでいただくため、曜日を分けて分散開催しました。
- ④つむぎ便りを毎月発行し、つむぎの家のご利用者の様子について情報提供を行いました。
- ⑤5月に保護者会を4年ぶりに開催し、つむぎの家の今後について多くのご意見をいただきました。

令和5年度 事業報告

資料- 5

上田しいのみ会

施設名	しいのみ療護園	施設長	中條 孝
-----	---------	-----	------

1 重点事業計画と達成度

事業計画	①	施設利用の新規希望者が増えない中、利用者の確保を重点に地域及び行政機関と連携し情報の共有を行い、安定した運営を行います。	達成度	①	新規入所希望者の減少もあり、利用率の回復に至りませんでした。
	②	職員のスキルアップ研修を継続的に行い、専門職としての知識、介護技術の習得を目指し、施設サービスの質の向上に努めるとともに、次世代を担っていく中心的人材の育成を積極的に行います。		②	計画より少ないが、オンラインを活用した研修、県内外開催の対面研修に参加しました。
	③	感染症等の対策を徹底し、利用者及び職員の健康管理に努めるとともに、安心・安全な事業継続に向けた対応を進めます。		③	防止対策等を継続して行い、利用者の安全に務めました。

2 ご利用者状況 (令和6年3月31日現在)

① 入所定員 50名 入所現員 46名 ② 退所者 4名 入所者 5名

③ 男性 29名 女性 17名

④ 平均年齢 男性 56.7歳 女性 55.9歳 全体 56.4歳

⑤ 障害支援区分
(障害者施設)

区分	6	5	4	3
男	24	3	2	0
女	16	1	0	0
計	40	4	2	0

重 ← → 軽

⑥ 年間利用率

生活介護 86.0 %
施設入所支援 86.6 %
短期入所 21.0 % 定員 2名(内緊急対応1名)

3 施設整備工事・整備設備等 (金額が大きい上位3件)

① 低床3モーターベッド5台 107万円

② 渡り廊下屋根改修工事 94万円

③ 火災通報装置交換(光回線対応) 65万円

4 修繕費合計 393万円 固定資産取得費合計 267万円

5 主な活動・実績等

①	新型コロナ・インフルエンザ等の感染症の防止対策を重点に引き続き、行事の縮小、研修、会議等の縮小、外出、面会の一部規制、ワクチン接種を行うなどの対策を行い感染を防ぎました。
②	短期入所においては地域生活支援拠点に関わる緊急ショートステイ業務を担う事業所として委託を受け、年間を通して1床確保し、受入、対応を行いました。
③	職員に関しては資格(介護福祉士1名、実務者研修1名、喀痰吸引従事者3名)取得。オンラインの活用と県内外開催の対面研修に参加し、専門的知識の習得を進めました。

6 その他 報告事項

施設名	特別養護老人ホーム 室賀の里	施設長	村上 恒夫
-----	----------------	-----	-------

上田しいのみ会

1 重点事業計画と達成度

事業計画	① (特養) 徹底したコロナ対策、2リビング制の定着、BCP計画策定、職員研修の充実、経費の削減、収入の確保、インドネシア3期実習生のスキルアップ、温かい接遇の徹底をします。	達成度	① 1月から2月初旬にかけて、入所ご利用者18名、施設内職員10名、のコロナ感染あったが、何とか収束することができました。2リビング制は定着しました。BCP計画を策定し、コロナ感染時の対応に活かしました。職員研修は自主的に多数の職員外部研修に参加できました。尚3期生1名N3合格し、1期生N2合格2人目となりました。
	② (デイ) コロナ対策の徹底、稼働率のアップ、業務改善、ミニデイのご利用者の増加に努めます。		② 今年度の利用実績は74.1%(22.23人/日)。稼働率は前半アップしたが後半はダウン気味でした。特に3月には、ご利用者2名、職員3名、のコロナ感染ありデイの利用を一時休止しました。経費の削減により今年度は収支状況の改善が図られました。
	③ (いきいき介護センター) 新規開所のしいのみ会相談センターかわにしとの連携と各事業所・医療機関との連携を密にしケアプラン件数の増加に努めます。		③ 今年度の年間平均プラン作成件数は102件。相談センターとの連携を密にした結果新規プラン件数は増えたが、入院・永眠等利用中止件数も少なからずありました。

2 ご利用者状況 (令和6年3月31日現在)

①	入所定員	68名	入所現員	68名	年間利用率	96.2%
②	男性	12名	女性	56名		
③	平均年齢	男性 84.5歳	女性 90.4歳	全体	89.3歳	
④	年度内退所者	26名	年度内入所者	26名		

⑤	要介護度状況 (高齢者施設)	要介護	男	女	計(人)	割合	重 ↑ ↓ 軽	*平均要介護度 男性 4.5 女性 4.3 全体 4.4
		5	7	26	33	49%		
		4	4	22	26	38%		
		3	1	8	9	13%		
		2	0	0	0	0%		
		1	0	0	0	0%		
	合計	12	56	68	100%			

⑥	短期入所の年間利用率	74.2%	定員	12名
---	------------	-------	----	-----

3 施設整備工事・整備設備等 (金額が大きい上位3件)

①	暖房用ポンプ取替工事	68万円
②	浄化槽ポンプ取替工事	64万円
③	浴槽ろ過装置用制御盤取替工事	58万円

4	# 修繕費合計	343万円	固定資産取得費合計	47万円
---	---------	-------	-----------	------

5 主な活動・実績等

①	(特養) 令和5年度から新型コロナウイルス感染は5類となりましたが、引き続き感染予防対策を継続しました。充分注意をしていましたが、1月から2月にかけて、ほんのわずかな油断により、ご利用者18名・職員10名の罹患による施設内感染を引き起こしてしまいました。BCPによる感染対応体制を直ちに敷き、対応に当たった職員一同は冷静沉着に慌てることなく淡々と非常時の業務に精励してくれ、完全隔離してゾーニングを行った「楽リビング」からそれ以上の感染拡大を防ぐことができました。但し、1月11日に始まった感染が収束するには約1箇月を要し、その間感染が遠因で2名のご利用者が永眠され、弱毒化しているとはいえ改めてコロナ感染症の怖さを思い知らされました。今後とも感染予防には充分に注意して参ります。
②	(デイ) ご利用者の獲得アップを目指し営業努力を続けましたが、今年度の利用実績は74.1%(22.23人/日)でした。登録者は3月末現在で74名となっています。高齢のご利用者は介護度が上がりデイサービス利用を中止して施設入所される方も増え、新規のご利用者獲得にはなかなか結び付かず苦戦を余儀なくされました。しかし徹底した経費削減に取り組み、今年度は黒字化が見込める状況です。また、ミニデイのインストラクター派遣につき、今年度は外部トレーナーを週2回程度招聘し指導をお願いしました。リラクゼーションを取り入れたストレッチがご利用者にとっても好評でした。今後はご利用者の更なる確保とプログラムの充実を図り、満足のいく運動指導を目指して参ります。
③	(いきいき) 今年度の月平均プラン作成件数は102件でした。地域包括との連携により委託プラン件数を年間104件受け入れました。今年度は昨年よりも急な体調の悪化や転倒などで緊急入院する方がとても多く、医療との連携をより密に取りながら在宅生活への移行に向けて支援をする努力をしていましたが、実際には在宅に戻れるケースは思うよりもずっと少なく、入所施設や療養病棟への転院の相談が多くありました。他の事業所との競合も激しくなっており、ケアマネ3名の協力体制を密にし、尚一層ご利用者の意向や状況に沿った支援ができるように、ご利用者やご家族との信頼関係を構築しながら、最も最適なケアプランの作成に努めて参ります。

6 その他 報告事項

5類にはなったもののコロナ感染状況が継続する中で、職員全体会や職員研修会が十分にできない中でも、朝会等で職員倫理綱領の読み合わせを行い、職員間で共通する意識を保持する努力をしました。職員はそれぞれ法人の理念を忘れず、ご利用者とご家族の幸せのために懸命に努力を続けてきています。インドネシア人の実習生も外国籍を感じさせないほど室賀の里に溶け込み、素晴らしい仕事をしてくれています。電気料金をはじめ冗費・消耗品等物価上昇が止まらず施設の財政も大変厳しい折ですが、今後も職員の労苦に報いられるよう運営したいと思っております。

令和5年度 事業報告

上田しいのみ会

施設名	川西地域包括支援センター 相談センターかわにし	施設長	村上 恒夫
-----	----------------------------	-----	-------

【川西地域包括支援センター】 職員8名(正3、嘱1、パート4)

1 重点事業計画と達成度

事業計画	高齢者の介護予防、介護、福祉、保健、医療などの相談窓口としてあらゆる相談に対応します。実態把握や集まりに参加し、支援が必要な方の発見、ニーズの把握に努めます。	達成度	新事務所へ移りまもなく④年を迎えるにあたり、センターの認知度は更に高まったと感じています。来所相談は旧事務所にいた頃の約5～6倍となり、電話相談や訪問相談の件数も増加しています。引き続き、地域の高齢者のための『よろず相談所』としての機能を果たすよう努めていきます。
------	---	-----	--

2 主な活動・実績等

①	<p>○介護予防・日常生活支援総合事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要支援・事業対象者ケアプラン作成:1,216件 ・介護予防サービスプラン:1,492件 ・地域リハビリテーション:29会場 ・公式LINEアカウントを活用し、センターでのイベントの情報を発信しました。 <p>○川西有線と連携し毎朝のラジオ体操が定着しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域リハビリテーション活動支援事業を活用し、センターを会場とした『音の輪クラブ』を開催しました。 ※地域リハは新たに2会場が立ち上がりました。 ※健康推進課および高齢者介護課と連携し、『高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施』事業に取り組みました。
②	<p>○地域福祉推進活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座:7回、オレンジカフェ『ひなたぼっこ』:12回(参加者のべ152名)、ワンコイン出前講座:62回 ・自治会ごとに行なう会食会や敬老会、人権懇談会など派遣依頼のあった会合に積極的に参加しました。
③	<p>○総合相談支援業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談 実人数:1,994人(来所相談:507件) ・実態把握:255件 ・防火訪問(川辺、川西地区) ・孤独死:0件 <p>○ネットワーク構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議:7回 ・包括だよりの自治会回覧:4回 ・民児協参加:2か所 ・まちづくり組織:2か所 <p>○権利擁護業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待ケアメンバー会議0回 ・特殊詐欺等防止パンフレットを関係機関、居宅介護支援事業所などに配付しました。 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上小圏域成年後見センターとの懇談会:1回 ・特殊詐欺被害相談:1件 <p>○包括的継続的ケアマネジメント業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談、退院カンファレンスへの参加 ・ケアマネ指導助言:20回 ・居宅介護支援事業所への予防プラン一部委託:43件 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症見守りネットワーク事業:9名登録 ・実習生の受け入れ:長野大学4名(8日間・24日間)、信州上田医療センター看護学校4名(4日間) 上田看護専門学校2名(2日間)

【相談センターかわにし】

職員1名(嘱1)

1 重点事業計画と達成度

事業計画	介護、障がい等の総合的な福祉相談の場として、情報の提供や施設紹介などを行います。	達成度	当法人の高齢者、障がい者施設事業の広報紙等を陳列して情報提供に努めました。川西地域包括支援センターと連携し、地域の高齢者からの相談に対応しました。
------	--	-----	---

2 活動状況

<ul style="list-style-type: none"> ・川西地域包括支援センターが行なうオレンジカフェ『ひなたぼっこ』、『音の輪クラブ』への協力、独自事業として『かわにし寺子屋』を共催しました。 ・『ひなたぼっこ(152名)』、『音の輪クラブ(304名)』、『かわにし寺子屋(87名)』と、多くの地域住民がセンターに入出入りすることとなり、社会福祉法人上田しいのみ会のPRに繋がったと感じています。
